

研究助成金

C 研究会合宿・研究会が主体となった学術交流活動

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科

准教授 河野暢明

成果報告書

1. 開催日時

2024 年 9 月 17 日（火）-2024 年 9 月 18 日（水）

2. 開催場所

〒325-0301 栃木県那須郡那須町湯本 2 0 4 - 6 0

3. 活動概要

現代の生物学は対象や手法がきわめて多様化している。その中であって、本質的で重要な問題を発見・解決するためには、学際的な視点が重要である。そこで慶應義塾大学環境情報学部河野研究会と東京都立大学理学部生命科学科の大林研究室と共同で本学際交流会 2024 を開催するに至った。本交流会では広く生物学を軸に、対象生物やアプローチを限定することなく、多角的な視点で今こそ取り組むべき重要問題のタネを発見することを目的とする。本研究会での議論が、短期的には各々の研究課題の発展につながることを、中長期的には生物学研究の学術を大きく変革していくための礎となることを目指す。

4. 参加者

慶應義塾大学 11 名

東京都立大学 7 名

5. 活動内容

学生・教員含め 18 名がそれぞれ自身の研究内容及び提供できる技術や困っている課題などを発表・共有し、質疑応答を行なった。ついで総合討論として、「新たな研究課題の創出」「研究室運営で求められるシステム」「研究者としてのキャリアパス」などを題材にグループディスカッションを開催した。研究発表のタイトルは以下の通りである。

河野暢明	非モデル生物を対象とした生命機能設計
中川恒	クモ分子生物学における基盤技術の創出
藤本悠人	<i>Bacillus subtilis</i> (枯草菌) ゲノムの各座標における遺伝子組換えに対する特徴差の網羅的調査
山本フィリップ	A non-invasive molecular approach for spider species identification using proteome analysis
増井真那	生物における「自己」の進化の理解を目的とした変形菌の自他認識行動の研究
石渡智里	Determination of Mitochondrial genome, search for spider silk candidate gene of <i>Heptathela kimurai</i> and Large-scale phylogenetic analysis of spiders
菊地千花	変形菌の子実体形成機構解明に向けた遺伝子探索
松本美亜	形質転換の遺伝子的基盤を特定する
中島月菜	バクテリアを用いた高温耐性能力の獲得機能
荻野馨	Genome Assembly of a jumping spider, <i>Carrhotus xanthogramma</i>
竹川瑠華	Single-Cell Proteins as Alternative Protein Sources: A Comparison of Microbial Species
大林龍胆	ゲノム倍数性に着目した細胞機能の解明
村木遥飛	ゲノム倍数性の意義の解明
安村健伸	酵母の rDNA 重複の研究
石田大空	オルガノイド構築からみる免疫応答
飯塚冴	DnaA に依存しない複製開始機構の解明
岩崎翠柚	リボソーム RNA の転写制御機構の解明
武内周平	細胞内共生に必須なバクテリア条件の解明

6. 謝辞

本会は慶應 SFC 学会研究助成によって実施された。研究会の性質上、所属学生は SFC（神奈川県）と TTCK（山形県）それぞれで普段活動しているため、物理的な交流は困難な日々が続いている。そうした環境下において、直接会って意見交換し、互いの研究や将来に関して議論できる合宿は非常に価値あるものである。一方で、キャンパス間の移動にはコストが多くかかってしまい、交流会の開催は容易なものではない。慶應 SFC 学会の研究助成を受けることでコスト面での課題がある程度解決され、本会を無事開催することができた。参加者一同を代表して心より感謝申し上げる。